

平成30年度 府立高校特色化事業 事業計画書

1 テーマと目標

テーマ	「よし、〇〇しよう。」
目標	生徒が主体的に学習に取り組み、希望進路の実現を果たす。地域の魅力や課題に気づき、地域貢献・地域活性化を推進し、地域創生の一翼を担う。

2 事業内容

番号	区分	実施 予定日	参加生徒		目的	内容	成果を測る指標	現状	中間目標	年間目標
			対象	人数						
①	地域貢献	通年	全員	379	地域に学び、地域に生きる。生徒の活動が地域を盛り上げ、地域を元気にする。	ボランティアバンク、1クラス1クラブボランティアの活動を通して、地域の体育的・文化的諸行事への支援・運営協力を行う。	ボランティア活動への参加回数（一人あたり）	3.7回	3.0回	5.3回
②	地域貢献	通年	希望者	-	地域を巻き込んだ活動に主体的に取り組むとともに、地域の魅力や課題に気づき、その発信や課題解決に取り組む。	TAC (TEAM AMINO CREATOR) による地域貢献活動の企画・運営。フォトツーリズムによる地域の魅力発信。	地域貢献活動の企画・運営回数	-	2回	5回
③	地域連携 産学連携	11月	企画経営科 3年生	29	「丹後活性化プレゼンテーション大会」を地域住民にも公開して、地域に密着した取組とし、地域創生につなげる。	地元企業との連携を強化し、地域貢献につながる丹後活性化案を提案して、その具現化を図る。	授業評価アンケート 地域創生に寄与していると回答した生徒の割合	-	-	100%
④	学校間連携	11月	企画経営科 2年生全員	30	地域研究を行っている大学生とワークショップを行い、地域活性化のための調査研究を深める。他校（京都すばる高校）と交流することにより、共同企画した「丹後日帰りツアー」を成功させ、地域創生への意欲を高める。	高大連携を通して、地域活性化を目指す調査研究をより深め、「丹後日帰りツアー」の充実を図る。また、京都すばる高校との交流と京都すばるデパート販売実習の視察を行う。	自己評価アンケート ふるさとを愛し、丹後の魅力を発信することができたと回答した生徒の割合	-	-	100%
⑤	学力向上	通年	2年生全員	111	個に応じた指導の充実による「学力中間層」の底上げを目指す。	各チューターが8人程度の生徒を担当して、家庭学習のアドバイス、進路相談などを行い、生徒が希望進路実現のために主体的に行動を起こすよう働きかける。	自主学習時間	96分 (1年次)	110分	110分
⑥	学力向上	通年	1年生全員	121	自己肯定感を高めることで、学習に意欲的に取り組ませる。	目標設定とその振り返りを1箇月ごとに行う「エッグシート」を活用し、小さな目標の達成を積み重ね、学習習慣の確立を目指す。	自主学習時間	-	100分	110分
⑦	学力向上	通年	全学年	379	基礎学力の向上と学習習慣の定着	各種資格取得（漢字・英語・数学・書写検定）に挑戦し、合格に向けて取り組むことで、学習習慣の定着と学習意欲を高める。	受験者数	29人	30人	100人
⑧	学力向上	7月	1年生 希望者	-	進学希望者のモチベーションアップを図り、学力を向上させる。	「進学講演会」を実施してモチベーションアップを図り、学力を向上させる。	業者模試の偏差値平均の伸び	-	-	2
⑨	学力向上	通年	全員	379	授業でICT活用、アクティブ・ラーニングを推進し、生徒が思考する時間を確保し学びを深めさせる。	課題解決型の学習の成果発表を、パワーポイントなどを使用してプレゼンテーション形式で行う。	授業評価アンケート で、主体的に学習に取り組んだと回答した生徒の割合	78%	80%	90%

平成30年度 府立高校特色化事業 事業計画書

⑩	キャリア教育	11月	2年生全員	111	自らのキャリアプランをしっかりと考えさせる。	バスを貸し切ってキャリアデザイン事業見学ツアーを実施し、進路意識の高揚と学習意欲の喚起を図る。また、進学講演会等により、大学入試に向けた具体的な学習対策等を考えさせる。	進路希望調査における進路未定生徒の人数	16人 (1年次)	10人	0人
⑪	キャリア教育	通年	全員	379	生徒の豊かな人間性を育み、使命に生きる社会人を育てる。	「生き方学習プログラム」の感想や取得資格の証書、学期ごとの振り返りシート等を綴じ込んだポートフォリオを作成し、年度末に学年に応じた「自己発見シート」を書く。	自己発見シートの完成	98%	-	100%
⑫	キャリア教育	通年	3年生全員	147	個別指導を充実させ、希望進路を実現させる。	学習面に内容を絞った「プルアップ面談」を実施し、生徒一人一人の詳細な進路希望や学力状況の情報をまとめた「進路突破シート」等により、教員が情報を共有して個別指導を充実させる。	進路決定に対する満足度	98.3%	-	100%
⑬	産学連携	通年	企画経営科 1年生	30	地元企業等の協力を得て、商品開発におけるマーケティング実習の充実を図り、地域に貢献させる。	地元企業の協力を得て、商品の企画から販売等、地域活性化に向けたマーケティング実習に取り組む。	授業評価アンケート 丹後に関する興味・関心がわき知識が深まったと回答した生徒の割合	-	-	100%

※ 「区分」は各校の取組内容に応じて適宜設定してください。(例:「学力向上」、「地域連携・地域貢献」等)
 ネットワーク校でフェスタ・学校間連携事業を実施する場合、区分欄には「フェスタ」、「学校間連携」と記入してください。
 成果を測る指標は、別紙「府立高校特色化事業 中間及び年間目標 参考事例」を参考に各校で設定してください。

3 取組の広報及び評価の公表

時期	手法	公表内容	対象
随時	学校HP	地域行事への支援・運営協力、 進路決定状況	HP閲覧者
随時	地元新聞社	地域行事への支援・運営協力	地域住民など
月1回	学校だより	地域行事への支援・運営協力 学習時間調査、進路決定状況	地域住民など